

http://news.inews24.com/php/news_view.php?g_menu=020300&g_serial=1002624

KT, KON KOREA と太陽光発電効率の試験プロジェクト実施

防汚コーティング剤ペルオキシチタンを適用し、半永久的に発電効率を維持

2017年1月19日 14:28 [アイニュース 24]

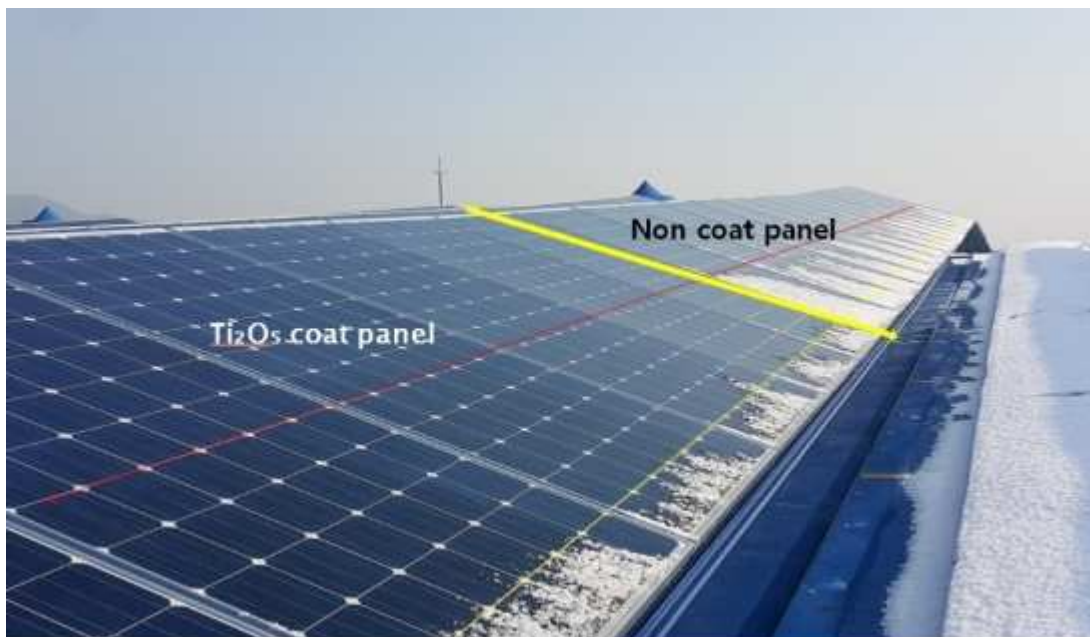
KT がスマートエネルギー事業への速度を増している。現在 KT は未来融合事業推進室 スマートエネルギー事業団が関連事業を担当している。

19日、KT

19일 KT(대표 ファン·찬규)는 KON KOREA と環境にやさしい素材で太陽光発電効率を引き上げる試験プロジェクトを進めることを明らかにした。

今回のプロジェクトは利川の KT の物流倉庫の屋上にある太陽光発電パネルの一部に別途測定器を設置し、コーティングされたパネルと他の電気発電量、一定期間の発電量を比較するという内容である。

太陽光パネルに最先端の光触媒の一種である防汚コーティング剤ペルオキシチタン(Ti_2O_5)を1万分の2mmの厚さでコーティングし、年間発電効率が最小で5%から最大で25%まで向上するのかわを確認するためのものである。



◇ KT의 태양광 발전 비오염코팅제 시험 프로젝트 [사진=KT]

将来の代表的な環境にやさしいエネルギーの供給源として選ばれる太陽光発電は世界の再生可能エネルギー市場での熾烈な競争体制に突入している。電気自動車など次世代のエコカーが導入された場合太陽光発電市場も急速に拡大することが期待される。

特に最近の太陽光発電市場は、電力の枚数単価が低くなり発電効率の向上が非常に重要な解決課題として浮上している。世界的にソーラーパネルの清掃方法も多様に開発され適用されている。

このような太陽光パネルの発電効率を高めるには清掃頻度も高まり、それに伴い費用も増加する。水洗い時に生じる水垢が発電効率を落とす要素として作用し得る。また清掃が不可能な構造の発電所もある。

KT が今回試験に適用するペルオキシチタンは太陽光パネルにコーティングした場合、光に反応しながらほこりなどの汚染物質を分解させ、雨が降れば自動的に洗い流されるという特徴を持っている。関連するプロジェクトが成功すれば太陽光発電の発電効率をワンラック上げることができると期待される。

KT の関係者は「別途清掃なしのパネルの正常な機能を常に維持させる物質」とし、「大雪が降った場合、雪が5倍ほど早く滑り落ち発電時間を増大させ、半永久的に機能するという利点がある」とのこと。

また、「KT がスマートエネルギー事業を推進中である状況でエコエネルギーの効率向上は重要な課題」とし、「今回のプロジェクトが成功した場合継続的な改善を通してエネルギー事業に取り入れたい」と付け加えた。

チョ・ソクグン記者